

後期第1回 東アジア⑨(明)

問1 歴代王朝の中央集権体制についての説明として正しいものを選び。

- ① 唐では、尚書省の六部に詔勅を起草させた。
- ② 宋では、中書省が政策を議論したが、最終裁可は皇帝のみが行った。
- ③ 元は、ハンに直属する理藩院を地方に設置し、全土から情報を集めた。
- ④ 明では、中書省に代わって軍機処が最高機関となった。(早稲田・文 改)

問2 尚書省について記述した以下の文のうち正しいものを一つ選び。

- ① 中央官庁の六都護府を統括するものとして唐代に成立した。
- ② 唐代では中書省で起草され、門下省で審査された詔勅を執行する機関だった。
- ③ 中書省は元に到り、最高行政機関となった。
- ④ 洪武帝は尚書省を廃し、六部を皇帝直属として独裁を強めた。(中央・商 改)

問3 明の貿易政策の説明として、誤っているものを選び。

- ① 朱元璋は、統一戦争の過程で有力な敵対陣営のなかに海上勢力が存在したので、その力を削ぐ方針をとった。
- ② 沿岸を荒らす前期倭寇の存在に頭を悩ませた明朝は、日本に倭寇鎮圧を求める一方、中国人の海外渡航を禁止した。
- ③ 石見銀山や新大陸から大量の銀が流入することで物価騰貴に直面した明の政府は、海禁策をとり銀の流入を制限した。
- ④ 明は、東シナ海で日本との密貿易をおこなった後期倭寇を取り締まる一方、海禁策を緩和した。(早稲田・商 改)

問4 鄭和の説明として誤っているものを選び。

- ① 鄭和は雲南出身のムスリムで、明軍の捕虜となり永楽帝に仕えた宦官である。
- ② 鄭和艦隊の中心となった船は宝船と呼ばれ、世界最大の木造帆船であった。
- ③ バスコ＝ダ＝ガマを冷遇したカリカットの領主は、その後に訪れた鄭和を厚遇した。
- ④ 鄭和の分遣隊は、アラビア海を渡りアフリカ東岸のマリンディにまで至った。(早稲田・商)

問5 中国史上の主要な反乱に関する説明として正しいものを選び。

- ① 陳勝は秦帝国を揺るがす大反乱を起こすが、漢の高祖と天下を争って敗れた。
- ② 黄巾の乱は、後漢末に張角が創始した宗教結社に率いられた農民反乱である。
- ③ 紅巾の乱は、元朝を崩壊させた農民反乱で、その指導者となった朱元璋は、明を建国して北京に首都を置いた。
- ④ 李成桂の乱は、明朝を崩壊させた農民反乱で、清の中国征服を容易にした。(早稲田・人間科学 改)

問 6 明代の社会経済についての記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- ① スペインが鑄造したメキシコ銀は、16世紀後半以降、対中国貿易に使用された。
- ② 銀の流通増大を反映して、明代後半から地丁銀という新税制が実施された。
- ③ 広東商人や新安商人など政府と結びついた特権商人が全国的に活動した。
- ④ 商工業者は、都市に行と呼ばれる

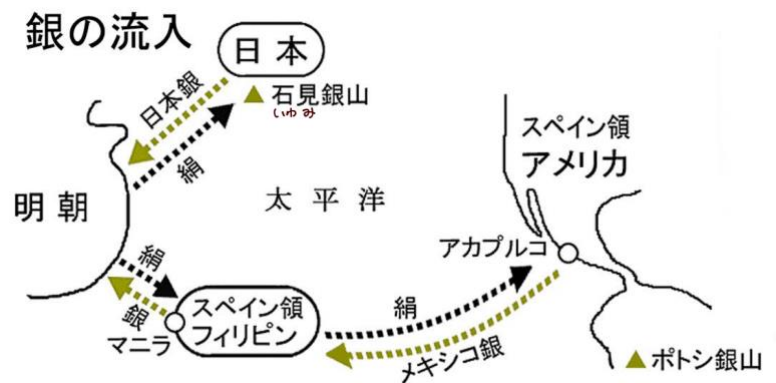
集会所を設けて活動の拠点とした。

(中央・経済他 改)

【正誤問題解答】

問 1 ② 問 2 ② 問 3 ③

問 4 ③ 問 5 ② 問 6 ①

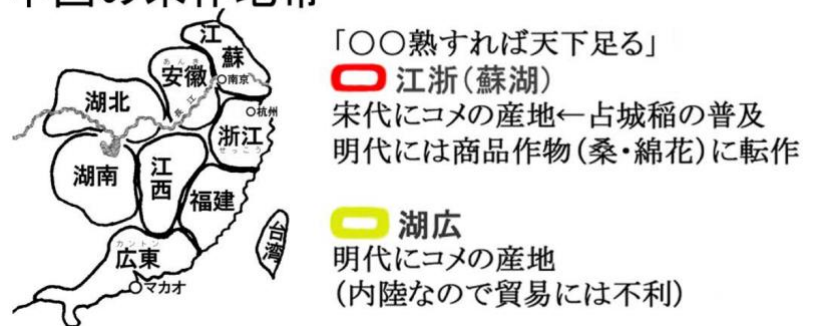


中国の米作地帯

【論述問題】

明朝への銀の流入とその影響について、以下の語句を用いて90字以内で説明しなさい。

フィリピン ^{いわみ}石見 湖広



	5	10	15	20
5				

後期第2回 東アジア⑩ (清)

問1 明・清代の政治について述べた以下の文から、最も適切なものを選びなさい。

- ① 明朝最後の崇禎帝は、1644年李自成に北京を攻略されて自殺した。
 - ② ポルトガル人が台湾南部に築いたゼーランディア城は、鄭成功により攻略された。
 - ③ 明将・呉三桂は清に服属して福建の藩王に封じられたが、のち三藩の乱を起こした。
 - ④ 雍正帝は三藩の乱を平定する一方、遷界令を發布して鄭氏台湾を投降させた。
- (慶応・法／早稲田・法 改)

問2 清朝の統治政策や制度についての記述として**不適切なもの**を一つ選びなさい。

- ① 中央の要職の定員を偶数とし、満州人と漢人を同数採用した。
- ② モンゴル・青海・チベット・新疆・台湾を藩部とし、理藩院がこれを統括した。
- ③ 皇帝直属の軍事行政の最高機関として、軍機処を設置した。
- ④ チベット仏教をとくに手厚く保護したが、儒教や道教も共存していた。(成蹊・法)

問3 16～17世紀の中国沿岸について述べた文章として正しいものを選びなさい。

- ① 16世紀半ばごろから、日本銀やメキシコ銀が中国へ流入するようになった。
 - ② 17世紀はじめ、豊臣秀吉が琉球に出兵し、琉球は中国と日本に両属した。
 - ③ 17世紀前半、倭寇の活動で日本人が東南アジアに進出、日本町を形成した。
 - ④ 17世紀半ば、鄭成功はスペインから台湾を奪い、反清運動の拠点とした。
- (日本女子大学・文 改)

問4 清代の税制に関する以下の記述の中で、**誤っているもの**を選べ。

- ① 地丁銀制は、土地税の中に人頭税を繰り込み、一括して銀納するシステムで、人頭税が事実上廃止された。
 - ② 塩の専売を請け負う塩商人として有名なのが、山西省出身の新安商人で、全国的に活躍した。
 - ③ 清代では、茶は欧州向けの主要な輸出商品となり、国庫の重要財源となった。
 - ④ 広州に海関を設置したが、この広州での外国貿易を独占した特許商人のことを公行と称した。
- (早稲田・法 改)

問5 清の人口が増加した理由を記した以下の文のうち**誤っているもの**を一つ選べ。

- ① 山間部でトウモロコシが普及し、多くの人口を養えるようになった。
 - ② 地丁銀制の廃止により、人口増加分には新たに税を課されなくなった。
 - ③ 満州、内モンゴル、青海などに漢人農民が進出し、農地を拡大した。
 - ④ 大土地所有が拡大した結果、多くの農業労働力が求められるようになった。
- (中央・商 改)

問6 新疆に関する記述として、正しいものを選べ。

- ① ウイグル人はイラン系の民族で、モンゴル高原から中央アジアへ西走した。
 - ② ジュンガルは、モンゴル系オイラトの一部族であり、ウイグル人を支配下においた。
 - ③ 清はジュンガル部侵攻に当たり、軍事機密保護のために理藩院を設けた。
 - ④ 康熙帝はジュンガルを滅ぼして藩部に加え、「新たな領土」という意味で「新疆」と命名した。
- (関西学院・文 改)

【論述問題】

十七世紀の台湾を支配した諸勢力の交代について、以下の語句を用いて90字以内で説明しなさい。

ゼーランディア城 康熙帝

	5	10	15	20
5				

【論述問題解答例】

後期第1回 スペイン商人がフィリピンに持ち込んだメキシコ銀、日本の石見銀が倭寇やポルトガル商人の手で流入した。銀が流通した沿海部では商品作物への転作が進み、内陸の湖広が穀倉地帯となった。(87字)

後期第3回 朝鮮半島(古代～高麗・朝鮮)

問1 古代朝鮮の動向について述べたものとして、もっとも適切なものを選びなさい。

- ① 前漢の武帝は、衛氏朝鮮を平定して、楽浪郡を置いた。
- ② 高句麗の広開土王は朝鮮半島に侵攻し、新羅・百済を滅ぼした。
- ③ 唐と結んだ新羅は、楽浪郡を滅ぼして朝鮮半島を統一した。
- ④ 唐の玄宗は高句麗を平定して、靺鞨州とした。 (青山学院・経済 改)

問2 高句麗に関する次の記述のうち適切でないものを選びなさい。

- ① 東北地方におこり、4世紀に楽浪郡を滅ぼして、朝鮮半島北部を支配した。
- ② 広開土王の時に楽浪郡を滅ぼし、百済・新羅に従え、倭と戦った。
- ③ 唐と新羅の連合軍によって、7世紀後半に滅ぼされた。
- ④ 高句麗の遺民・大祚榮は、渤海国を建てた。 (早稲田・社会科学 改)

問3 中華帝国と朝鮮半島の王朝との関わりに関する記述で誤っているものを選びなさい。

- ① 前漢の武帝は衛氏朝鮮を滅ぼし、楽浪・真番・臨屯・玄菟の4郡をおいた。
- ② 三国時代の魏は、高句麗に楽浪郡を奪われた。
- ③ 唐は百済・高句麗を滅ぼし、楽浪・帶方の旧領を再統合した。
- ④ 高麗では、中国から伝えられた仏教が国教として厚く保護され、高麗版大蔵経が二度にわたり刊行された。 (早稲田・社会科学 改)

問4 渤海と高麗に関する記述として、正しいものはどれか。

- ① 渤海は東北地方を支配し、周辺国との戦争の記録を広開土王碑に刻んだ。
- ② 渤海は唐から冊封を受け、新羅を滅ぼした。
- ③ 高麗は開城に都を置き、新羅にかわって朝鮮半島を統一した。
- ④ 高麗では、骨品制という身分制度が維持された。 (関西学院・商他 改)

問5 高麗時代に関する出来事として誤っているものを選びなさい。

- ① 宋にならって科挙制度を取り入れ、三省六官という中央官制を取り入れた。
- ② 百済・高句麗・新羅時代の歴史をまとめた『三国史記』が編纂された。
- ③ 諸法令・制度を集大成した『経国大典』が編纂された。
- ④ 国家の保護のもとで仏教が栄え、『大蔵経』が刊行された。 (法政・法 他)

問6 朝鮮王朝に関する記述として誤っているものを選びなさい。

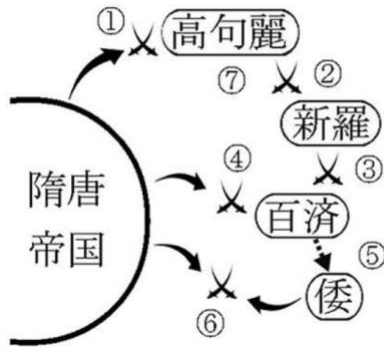
- ① 明と冊封関係を結び、朱子学を官学として採用した。
- ② 太宗の時代、庶民の文字として訓民正音が作られた。
- ③ 李舜臣は亀甲船を建造して秀吉の日本軍に抵抗した。
- ④ 科挙が盛んになり、銅活字による出版も行われた。

(南山・法他 改)

【正誤問題解答】

問1 ① 問2 ② 問3 ② 問4 ③ 問5 ③ 問6 ②

朝鮮三国時代



- ① 隋の¹_____の遠征失敗 (解答)
 ② 高句麗が南下 ¹ 煬帝
 ③ 鉄の産地²_____を争奪 ² 加羅
 ④ 新羅が唐に³_____される ³ 冊封
 ⇒唐と連合して百済を征服 ⁴ 白村江
 ⑤ 倭に亡命、援軍を要請 ⁵ 平壤
 ⑥ ⁴ _____の戦い(663)
 ⑦ 唐と連合して高句麗征服
 ⇒唐軍を排除し、⁵ _____以南を統一

【論述問題】

漢の武帝の遠征から統一新羅の成立まで、朝鮮半島における勢力交代について、以下の語句を用いて90字以内で説明せよ。

加羅諸国 広開土王 煬帝

5																			

後期第2回 オランダ人が対日貿易の拠点としてゼーランディア城を建設。明将・鄭成功がこれを奪って清への抵抗を続けた。清の康熙帝は遷界令で台湾を経済封鎖し、鄭氏を破って清の直轄領とした。(85字)

後期第4回 東南アジア①

問1 インドシナ半島に関する記述のうち、誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ① ドンソン文化は前4世紀ベトナム北部で発展し、独特の青銅器や鉄製の農具、青銅製の銅鼓を生み出したことで知られている。
 - ② ドンソン文化は、タイ文化の影響を受けて発展した独特の文化であり、青銅製の銅鼓は周辺地域で祭りにもちいられた。
 - ③ 扶南は、1～2世紀頃メコン川デルタ地帯で建国され、インド文化を導入した。
 - ④ 扶南は、商船隊によって南シナ海とベンガル湾、アンダマン海を結ぶ交易のネットワークを確立した。
- (早稲田・国際教養／社会科学 改)

問2 インドシナ半島に関する次の記述のうち誤っているものを1つ選べ。

- ① 秦の始皇帝は華南・ベトナム北部にまで領土を広げ、南海など3郡をおいた。
 - ② ベトナム北部で秦から独立した南越を、漢の高祖が滅ぼして9郡をおいた。
 - ③ 1世紀末ごろメコン川下流域に建国された扶南は、海上貿易で栄えた。
 - ④ クメール人国家の真臘が興り、扶南を圧迫した。
- (早稲田・社会科学 改)

問3 古代カンボジアに関する記述のうち、誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ① 扶南は、インド文化の影響をうけてメコン川下流域に建国、海上貿易で栄えた。
 - ② 9世紀初めにスールヤヴァルマン2世は、アンコール朝を開いた。
 - ③ アンコール朝は、アンコール=ワットをはじめ、壮大な寺院群を建造して栄えた。
 - ④ アンコール朝は、タイのアユタヤ朝の侵攻を受け、15世紀に滅びた。
- (早稲田・国際教養)

問4 唐代の東南アジアに関する次の記述のうち適切でないものを1つ選べ。

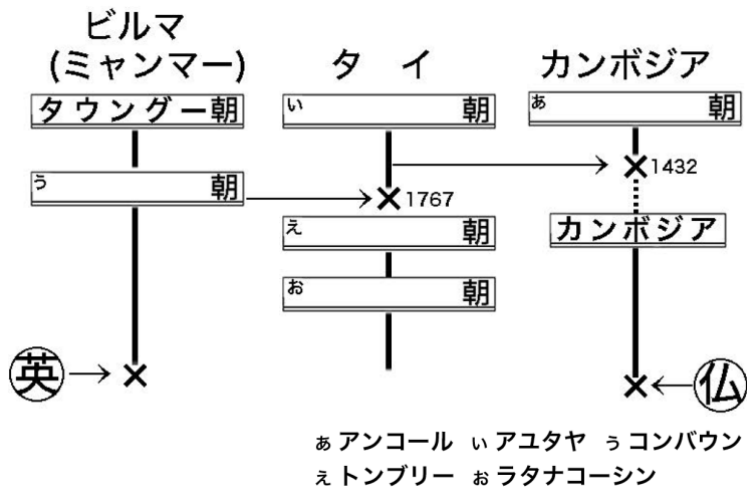
- ① マレー人のシュリーヴィジャヤ王国は、スマトラ島を中心に海上交易で繁栄した。
 - ② シュリーヴィジャヤ王国の首都パレンバンには、唐僧・義浄も滞在している。
 - ③ 中部ジャワに興ったシャイレンドラ朝は、大乘仏教寺院ボロブドゥールを建造した。
 - ④ シャイレンドラ朝は唐・宋に朝貢し、「三仏齊」と表記された。
- (早稲田・社会科学 改)

問5 シャイレンドラ朝の説明として正しいものはどれか。

- ① ジャワ島東部の王朝で、インドの叙事詩をジャワ語に訳してワヤンを創作した。
 - ② 青銅製の銅鼓や、稲作および鉄製農具を特徴とするドンソン文化を生み出した。
 - ③ ジャワ島中部に建てられ、大乘仏教を保護し、ボロブドゥールを建立した。
 - ④ スマトラ島のパレンバンを中心に建国された港市国家の連合王国である。
- (早稲田・人間科学 改)

【正誤問題解答】

問1 ② 問2 ② 問3 ② 問4 ④ 問5 ③

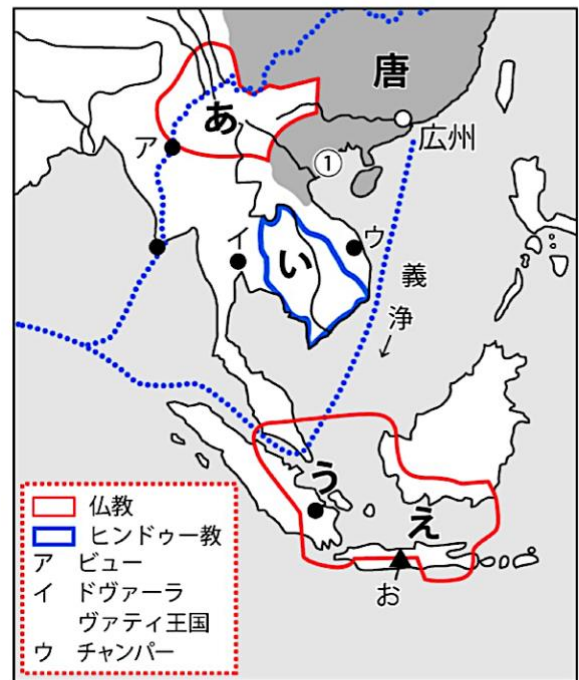


【論述問題】

唐代(7～8世紀)の東南アジア諸国の形成について、以下の語句を用いて100字以内で説明しなさい。

義浄 ボロブドゥール 雲南高原

唐代の東南アジア



唐の安南都護府

あ 南詔
い 真臘 (クメール)
う シュリーヴィジャヤ王国
え シャイレンドラ朝
お ボロブドゥール

5	10	15	20
5			

【論述問題解答例】

後期第3回 武帝は衛氏朝鮮を滅ぼし楽浪郡を置いた。高句麗はこれを滅ぼし、広開土王が南下して加羅諸国を争う百済・新羅を圧迫した。隋の煬帝は高句麗に敗北、唐は新羅を冊封し、百済・高句麗を滅ぼした。(90字)

後期第5回 東南アジア②

問1 東南アジアの文化に関する記述のうち、誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ① アンコール=ワットは12世紀前半に王墓として造営され、本尊はヒンドゥー教のヴィシュヌ神である。
- ② タイ中部の都市スコタイには、13世紀以降の上座部仏教遺跡が数多く残る。
- ③ ジャワ島の影絵芝居には、『ラーマヤナ』などから題材を取った物語が多い。
- ④ 14世紀にラオスに築かれたランサン王国は、大乘仏教を国教とした。

(早稲田・国際教養 改)

問2 東南アジアのイスラーム化に関する記述のうち正しいものを一つ選びなさい。

- ① マラッカ海峡にムスリム商人が来航した8世紀、住民はすぐにイスラーム化した。
- ② マレー半島西南部に成立したマラッカ王国は、明に対抗してイスラーム化した。
- ③ スマトラ島ではアチェ王国、ジャワ島ではマジャパヒト王国がイスラームに改宗した。
- ④ 現代のインドネシアは世界最大のムスリム国家だが、バリ島では土着信仰と融合したヒンドゥー教も信仰されている。

(早稲田・国際教養 改)

問3 明代初期の東南アジアに関する以下の文から正しいものを選びなさい。

- ① 琉球王国が東南アジアと中国・日本・朝鮮を結ぶ中継貿易の中心となった。
- ② 中部ジャワではシャイレンドラ朝が、壮大なボロブドゥール仏教寺院を建設した。
- ③ マレー半島南部に成立したアチェ王国が、中継貿易の拠点として発展した。
- ④ ベトナムでは元の支配から独立した黎朝が、中国的な国家体制を立てた。

(同志社・商 他)

問4 東南アジア島嶼部の歴史に関する次の記述のうち正しいものを1つ選べ。

- ① シンガサリ王国はヒンドゥー教を国教とし、元軍を撃退してジャワ島を統一した。
- ② 13世紀以降、ワッハブ派の影響で東南アジア諸国のイスラーム化が進んだ。
- ③ 15世紀に、マレー半島南部のマラッカ王国の国王がイスラームに改宗したことは、東南アジアでのイスラームの普及に大きな影響を及ぼした。
- ④ スマトラ島北端のアチェ王国は、イスラーム王国として香辛料貿易で栄えたが、20世紀初頭にイギリスの支配下におかれた。

(早稲田・社会科学 改)

問5 タイの歴代王朝の説明として正しいものはどれか。

- ① スコタイ朝はインドシナ半島初のタイ人の王朝で、大乘仏教が栄えた。
- ② スコタイ朝のラームカムヘーン王は、クメール文字をもとにタイ文字を制定した。
- ③ アユタヤ朝は、タイ国史上最大の領土を現出したが、イギリスに滅ぼされた。
- ④ アユタヤ朝のラーマ5世は、近代化と外交努力によって欧米列強による植民地化を回避した。

(早稲田・人間科学 改)

【正誤問題解答】

問 1 ④ 問 2 ④ 問 3 ①

問 4 ③ 問 5 ②

【論述問題】

14 世紀末～17 世紀前半のマレー半島の
海港都市の変遷について、以下の語句を
用いて、90 字以内で説明しなさい。

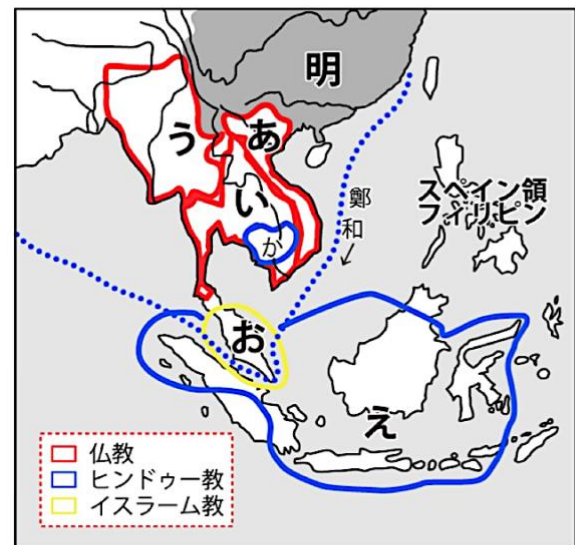
鄭和 改宗 東インド会社

マラッカ王国の成立



- ① 鄭和艦隊が来航
- ② 朝貢
- ③ イスラーム改宗

明清代の東南アジア



あ 黎朝大越
い アユタヤ朝
う { タウンゲー朝
コンバウン朝
え マジャパヒト王国
お マラッカ王国
か カンボジア

	5	10	15	20
5				

【論述問題解答例】

後期第4回 スマトラ島のシュリーヴィジャヤ王国はマラッカ海峡の中継貿易で栄え、唐僧・義浄も滞在した。ジャワ島のシャイレンドラ朝は大乘仏教寺院ボロブドゥールを建設した。雲南高原では南詔が成立し、内陸交易で栄えた。(99字)

後期第6回 内陸アジア・チベット

問1 中国の周辺民族に関する記述のうち正しいものを選びなさい。

- ① 都護府を通じた間接統治を羈縻政策といい、異民族への皇女の降嫁も行った。
- ② 安東都護府が置かれたハノイは南海交通の基地となった。
- ③ 突厥は6世紀中頃にモンゴル高原から興り、匈奴を滅ぼして大帝国を築いた。
- ④ チベット高原を南詔が統一し、中継貿易で栄えた。(早稲田・社会科学 改)

問2 漢と匈奴に関する次の記述のうち最も適切なものを1つ選びなさい。

- ① 前漢の劉邦は、冒頓単于の下で強大になった匈奴を撃退した。
- ② 武帝は、将軍の衛青・霍去病らに命じて数度にわたる匈奴への攻撃を行い、その結果、漢はオルドスや河西地方に勢力を伸ばした。
- ③ 武帝が大月氏と同盟して匈奴を挟撃するため甘英を西域に派遣したことをきっかけに、漢はタリム盆地のオアシス諸都市にまで支配を拡張し。
- ④ 北匈奴は後漢に服属し、五胡の1つとして定住した。(早稲田・社会科学 改)

問3 隋唐の外征に関する文として誤っているものを選びなさい。

- ① 隋は青海地方の吐谷渾を攻め、西域との交易ルートを確保した。
- ② 隋の煬帝の高句麗遠征は、失敗に終わった。
- ③ 唐は東突厥を服属させて単于都護府を設置し、西突厥をも滅ぼした。
- ④ 唐の高宗は南詔を滅ぼし、安南都護府を設置した。(防衛・人文 他 改)

問4 ウイグルに関する以下の文について、正しいものを選びなさい。

- ① イラン系の遊牧民族であり、唐の衰退に乗じて独立した。
- ② イラン系のクルド人を官僚として採用し、王はマニ教に改称した。
- ③ 安史の乱に際しては唐に援軍を送り、長安を占領した。
- ④ 契丹人に敗れてモンゴル高原から西走し、中央アジアをトルコ化した。

問5 チベットに関する以下の文について、正しいものを選びなさい。

- ① 吐蕃を建てたソンツェン=ガンポは、漢字をもとにチベット文字を作らせた。
- ② チベット仏教の高僧パスパはチンギス=ハンに国師として仕え、文字を作成した。
- ③ チベット仏教の高僧ツォンカパは戒律を重んじ、サキャ派(黄帽派)を開いた。
- ④ タタールのアルタン=ハンは、チベット仏教教主にダライ=ラマの称号を与えた。

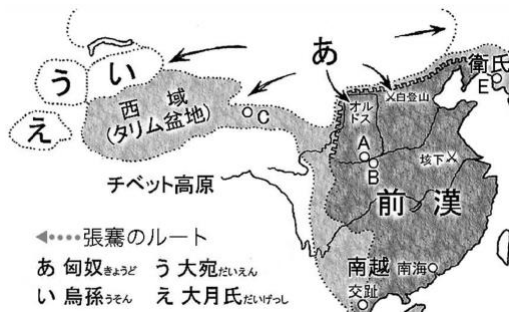
(関西学院・商 改)

問6 雲南高原の王朝に関する記述として、正しいものはどれか。

- ① 唐の前半には、安南都護府が置かれた。
- ② 唐の滅亡と同時期に南詔が成立し、宋との中継貿易で栄えた。
- ③ 南詔に代わった大理国は、チンギス=ハンに滅ぼされた。
- ④ 清代には呉三桂ら漢人武将が三藩の乱を起こした。(関西学院・商 他 改)

【正誤問題解答】

問1 ① 問2 ② 問3 ④ 問4 ③ 問5 ④ 問6 ④



【論述問題】

古代から13世紀までのタリム盆地の歴史について、以下の語句を用いて120字以内で説明しなさい。

敦煌 安西都護府
西遼



	5	10	15	20
5				

【論述問題解答例】

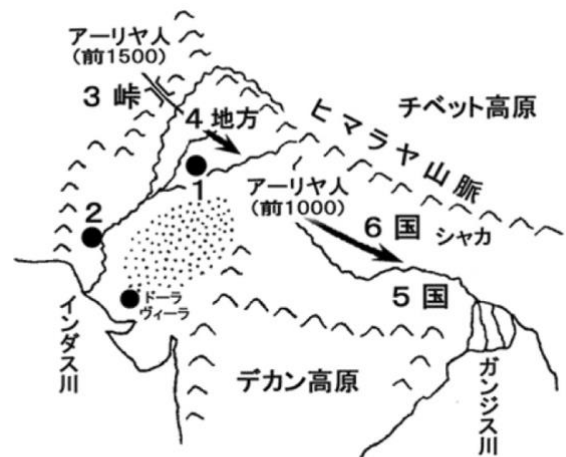
後期第5回 マレー人がマラッカ王国を建国し、中継貿易で繁栄した。仏教国アユタヤ朝の南下に対抗するため、鄭和の来航を機に明に朝貢し、イスラームに改宗した。16世紀にポルトガルによって王国は滅亡、植民地化され、17世紀にはオランダ東インド会社に占領された。(118字)

後期第7回 古代インド①

問1 インダス文明に関する記述として、適切なものを1つ選べ。

- ① モエンジョ=ダーロやクトゥブ=ミナールなどが代表的な遺跡である。
- ② 遺跡からは動物文様や象形文字を刻んだ多数の印章が発見されている。
- ③ 遺跡には巨大な王宮があり、王権の強さがうかがわれる。
- ④ 遺跡で発見される建造物は石造りであり、排水施設も整備されていた。
- ⑤ インダス文字はほぼ解読され、当時の社会生活の様子が解明されている。

(早稲田・社会科学)



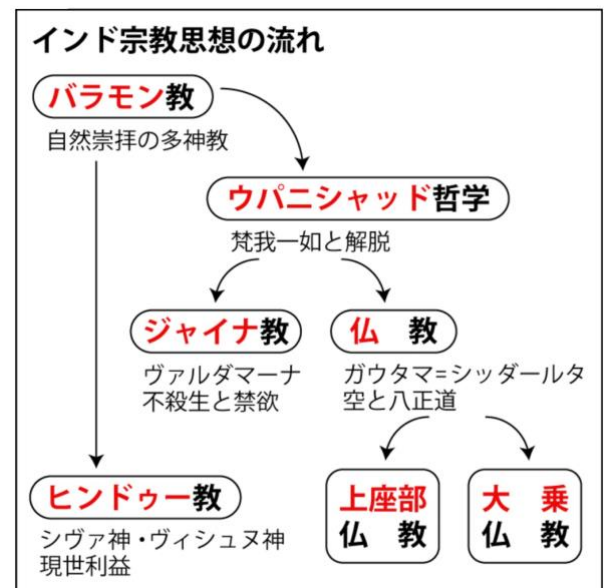
- 1 ハラッパー 2 モエンジョ=ダーロ
3 カイバル 4 パンジャーブ
5 マガダ 6 コーサラ

問2 マガダ国に関する記述として、適切なものを1つ選べ。

- ① 前6世紀頃に、インダス川中流域におこったアーリヤ人の国である。
- ② 前5世紀頃、同じアーリヤ系のコーサラ国に併合された。
- ③ この王はシャーと呼ばれ、ビンビサーラ王のとき強大化した。
- ④ パータリプトラを都とし、仏教やジャイナ教を保護した。(立教・全学部 改)

問3 バラモン教を批判する新しい思想及び宗教に関する記述として、誤っているものを1つ選べ。

- ① 宇宙の本質や霊魂についての思索を重視するウパニシャッド哲学が生まれた。
- ② 仏教やジャイナ教などの新宗教の登場は、シュードラの勢力伸長を背景としていた。
- ③ ヴァルダマーナを開祖とするジャイナ教が不殺生を説いた。
- ④ ガウタマ=シッダールタが八正道を説いて仏教の祖となった。(早稲田・社会科学)



問4 マウリヤ朝に関する記述として、適切なものを1つ選びなさい。

- ① ガンジス川下流域に成立した王朝で、パータリプトラを都とした。
- ② イラン系の人々が西北インドに侵入し、建てた。
- ③ 前1世紀ごろにデカン高原で成立した。
- ④ ナランダー僧院がこの王朝の著名な建築物である。
- ⑤ ナンダ朝を倒したアショーカ王が建てた。

(成蹊・文 改)

後期第8回 古代インド②

問1 クシャーナ朝に関する記述として、適切なものを1つ選べ。

- ① カニシカ王のもとで中央アジアから北西インドに至る支配地域を確立した
- ② 3世紀半ばに、パルティアによって滅ぼされた
- ③ 南インドの海港だけでなく、オアシスの交易ルートもおさえていた。
- ④ 都は、パータリプトラに置かれた。 (立教・福祉他 改)

問2 大乘仏教の特徴に関する記述として、誤っているものを1つ選べ。

- ① 菩薩信仰が中心であった。
- ② 仏像が作られ崇拜された。
- ③ スリランカに伝わり、現代の東南アジアの仏教のもとになった。
- ④ クシャーナ朝の保護を受けた。
- ⑤ ナーガールジュナ(竜樹)が教理の体系化に貢献した。 (中央・統一)

問3 グプタ朝期の文化に関する記述として、適切なものを1つ選べ。

- ① カーリダーサがパーリ語で戯曲『シャクンタラー』を著した。
- ② 仏教教学の中心となったナーランダー僧院が創建された。
- ③ 戦争叙事詩である『ラーマーヤナ』がほぼ完成した。
- ④ ヴァルナを否定して普遍的な規範を定めた『マヌ法典』が編纂された。
- ⑤ ヒンドゥー寺院であるアジャンター石窟寺院が作られた。 (早稲田・社会科学)

問4 インド古典文化に関する記述として誤っているものを1つ選べ。

- ① 宮廷詩人のカーリダーサが『シャクンタラー』と『メーガドゥータ』を書いた。
- ② ヴァルナの秩序を基本とする社会規範をまとめたものが『マヌ法典』である。
- ③ 『マハーバーラタ』と『ラーマーヤナ』はサンスクリットで書かれた二大叙事詩である。
- ④ アジャンター石窟に描かれた仏教美術は中国・朝鮮半島をへて日本に伝わった。
- ⑤ 文章語であるサンスクリット語のほか、ウルドゥー語がうまれた。 (早稲田・教育)

問5 ヒンドゥー教に関する記述として、適切なものを1つ選べ。

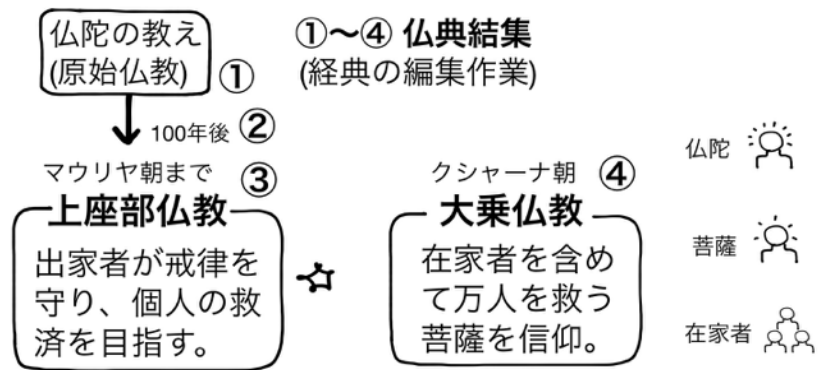
- ① ヒンドゥー教の戒律集『マヌ法典』は、カースト制の否定を説いている。
- ② シヴァ・ヴィシュヌ・ブラフマーを3大主神とする多神教である。
- ③ ジャワ島のシャイレンドラ朝はヒンドゥー教の王国だった。
- ④ 『マハーバーラタ』は、コーサラ国王子の生涯を描いた叙事詩である。
- ⑤ 中国では祇教と呼ばれ、長安には寺院も建設された。 (中央・法 改)

【正誤問題解答】

問1 ① 問2 ③ 問3 ② 問4 ⑤ 問5 ②

【論述問題】

紀元1世紀頃に生まれた新しい仏教の名称とその特徴について、従来の仏教と比較しつつ、以下の語句を用いて90字以内で説明しなさい。



	5	10	15	20
5				

【論述問題解答例】

後期第7回 都市国家間の抗争が続いた結果、祭司バラモンを頂点とするヴァルナ制が崩れた。貴族クシャトリヤや商工業者ヴァイシャが台頭し、バラモン教の形式主義を批判する仏教やジャイナ教を支持した。(89字)

後期第9回 古代イラン

問1 古代イランの政治について述べたものとして適切なものを一つ選べ。

- ① ダレイオス1世はフェニキア人の貿易活動を禁止し、財政を健全化させた。
- ② 東方遠征後、ギリシア人の支配を脱した遊牧イラン人は、セレウコス朝をたてた。
- ③ ササン朝のシャープール1世は、皇帝ウァレリアヌスが率いるローマ軍に敗れた。
- ④ パルティアはメソポタミアを併合し、クテシフォンに都を定めた。

(愛知・法他 改)

問2 古代イランの文明について述べたものとして適切なものを一つ選べ。

- ① アケメネス朝のペルシア文字は、アラム人の表音文字をもとにしている。
- ② ゴロアスター教からおこったマニ教は、ササン朝で国教となり、唐にも伝わった。
- ③ セレウコス朝の時代にはゴロアスター教の教典『アヴェスター』が編集された。
- ④ パルティアでは、オリンポス12神も祀られていた。

(愛知・法他 改)

問3 パルティアに関する記述として、誤っているものを選びなさい。

- ① カスピ海沿岸のイラン系遊牧民のパルニ族により建国された。
- ② 建国者のアルダシール1世は、セレウコス朝シリアから独立した。
- ③ カエサル这个时代には、ローマ軍を撃退して独立を維持した。
- ④ パルティアは、地中海沿岸と中国との中継貿易で繁栄した。

(中央・法他 改)

問4 中央アジアの歴史と民族についての記述のうち、正しいものを一つ選べ。

- ① 中国で安息と呼ばれたパルティアは首都をエクバタナとし、東西貿易で栄えた。
- ② ソグド人は中国では胡人と呼ばれ、その言語は国際商用語として用いられた。
- ③ セレウコス朝から独立したアルサケス朝パルティアは、ギリシア系の王国である。
- ④ バクトリアはイラン文化をインドに伝え、ガンダーラ美術に影響を与えた。
- ⑤ バクトリア王国を滅ぼしたトハラ(大夏)族は、西走してきた匈奴に征服された。

(早稲田・社会科学 改)

問5 ササン朝ペルシアについての以下の記述のうち、正しいものを選びなさい。

- ① この国の王は、各州をサトラップと呼ばれる知事に統治させ、そのサトラップを監督する「王の目」や「王の耳」と呼ばれる監察官を各州に派遣していた。
- ② 王都の1つペルセポリスはアレクサンドロス軍によって焼き払われ、廃墟となった。
- ③ この国は終始マニ教を国教としたが、キリスト教の一派や伝統宗教も認めた。
- ④ 東方から侵入した遊牧民エフタルを撃退して滅ぼした。

(成蹊・文 改)

問 6 ササン朝に関する以下の文から、正しいものを 1 つ選べ。

- ① イラン高原から興って3世紀初めにパルティアを倒したアルダシール1世は、のちにマニ教を国教に採用した。
- ② シャープール1世は、西ではギリシア軍を、東ではクシャーナ朝を破った。
- ③ 5世紀後半になってエフタルの侵入を受けたが、ホスロー1世はトルコ系ウイグルと結んでエフタルを滅ぼした。
- ④ 7世紀半ばにニハーヴァンドの戦いでアラブ人に敗れ、崩壊した。

(上智・文 改)

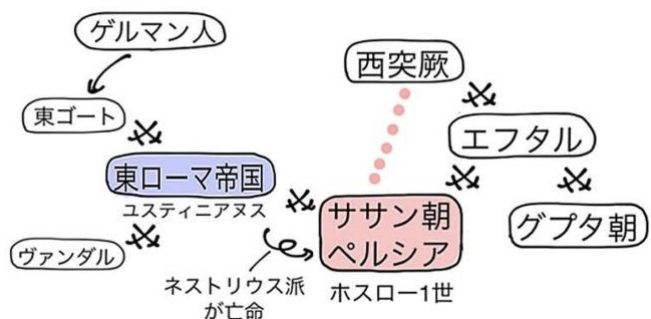
【正誤問題解答】

問 1 ④ 問 2 ④ 問 3 ② 問 4 ② 問 5 ④ 問 6 ④

【論述問題】

6世紀の地中海と西アジアの国際関係について、以下の語句を用いて、90字以内で説明しなさい。

ヴァンダル ユスティニアヌス 突厥



	5	10	15	20
5				

【論述問題解答例】

後期第8回 大乘仏教。戒律を重視し、出家を求める従来の上座部仏教を批判、菩薩信仰による万人救済を説いた。クシャーナ朝で広まり、ヘレニズム文化の影響を受け、ガンダーラ様式の最初の仏像を生んだ。(89字)

後期第10回 イスラーム①

問1 ムハンマドについて述べた以下の文のうち、正しいものを一つ選べ。

- ① カーバ神殿の管理権を握ってメッカを支配したクライシュ族の出身であった。
 - ② 彼が宣教活動を始めると、メッカのクライシュ族は当初から彼の教えを受け入れた。
 - ③ 彼は、ユダヤ教のアブラハムやキリスト教のイエスを偽預言者として否定した。
 - ④ 彼に降った啓示は口伝で伝承され、聖典『コーラン』として現在の形に編集されたのはアッバース朝時代のことであった。
- (法政・法他 改)

問2 正統カリフ時代におけるアラブの征服活動に関する記述として誤っているものを1つ選びなさい。

- ① ニハーヴァンドの戦いでササン朝を破り、イランを征服した。
 - ② 征服した土地にはミスルとよばれる軍営都市を建設した。
 - ③ イベリア半島に進出して、西ゴート王国を滅ぼした。
 - ④ 征服された人々は、信仰を維持したい場合、ジズヤとハラージュの支払いが義務づけられた。
- (中央・法 改)

問3 初期イスラームの征服活動に関するもっとも適切なものは、次のうちどれか。

- ① ムアーウィヤは、イスラーム教徒がビザンツ帝国から奪っていたシリアの中心都市ダマスカスを首都としてウマイヤ朝をひらいた。
 - ② ビザンツ帝国から奪った都市バグダードは、その後アッバース朝の首都として成長し、唐の長安とならぶ世界最大の都市として繁栄することになる。
 - ③ ビザンツ領エジプトの中心都市であったカイロは、イスラーム教徒の手に落ちてからも、地中海とインド洋を結ぶ交易の中継都市として繁栄を続けた。
 - ④ ウマイヤ朝が征服したコンスタンティノープルには多くのイスラーム教徒が移住し、この都市はイスタンブルと呼ばれた。
- (成蹊・文 改)

問4 アッバース朝について明白な誤りを含む文を一つ選べ。

- ① アブー=アルアッバースがシーア派や非アラブ系改宗者の不満を利用して建国したが、後にシーア派を弾圧し、スンナ派を擁護した。
- ② アッバース朝初代カリフのアブー=アルアッバースは、行政機構を整備して中央集権体制の確立をはかり、新都バグダードを造営した。
- ③ アッバース朝第5代カリフであるハールーン=アッラシードは、学芸を奨励しイスラーム文化の黄金時代を現出し、『千夜一夜物語』にも登場する。
- ④ モンケ=ハンの命により西アジア遠征を行ったフラグのモンゴル軍に敗れ、滅亡した。

(早稲田・法 改)

問5 アッバース朝に関する記述のうち正しいものを、一つ選びなさい。

- ① アラブ人とイラン人などとの間の民族的差別は依然として残っていた。
 - ② 開祖アブー=アルアッバースは首都バグダードを造営し、帝国の基礎をかためた。
 - ③ ハールーン=アッラシードの治世中に全盛期をむかえた。
 - ④ マンスールは「知恵の館」を建設して学芸の奨励につとめ、イスラーム文化の黄金時代をもたらした
- (中央・経済 改)

後期第 11 回 イスラーム②

問 1 後ウマイヤ朝について述べた以下の文のうち、正しいものを一つ選べ。

- ① シリア総督ムアーウィヤが、第 4 代正統カリフであったアリーを倒して創始した。
- ② 都をバグダードに置き、西北インドから北アフリカ・イベリア半島におよぶ広大な領域を支配した。
- ③ フランクに敗れてイベリア半島に移動したゲルマン人王国を、711 年に滅ぼした。
- ④ 第 8 代アブド=アッラフマーン 3 世の頃に最盛期を迎えた。(法政・法他 改)

問 2 後ウマイヤ朝の首都について説明した文で、正しいものはどれか。

- ① イベリア半島南部の都市で、アルハンブラ宮殿が有名である。
- ② イベリア半島アンダルシア地方の都市でカルタゴ人が創設し、ローマ時代から繁栄し、のちにヴァンダル人に占領された。
- ③ 大西洋に注ぐグアダルキビル川流域の都市で、コロンブスはここから出航した。
- ④ イベリア半島中部の都市で、スペイン王フェリペ2世がトレドからここへ遷都した。
(早稲田・法 改)

問 3 アッバース朝に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

- ① 建国に協力したイラン系の改宗者が政治の要職を占めるようになり、アラブ人の特権はしだいに失われていった。
- ② ハールーン=アッラシードはアッバース朝の黄金期を飾るスルタンで、学芸を奨励し『千夜一夜物語』を編纂させた。
- ③ ファーティマ朝は、アッバース朝の主権は認めたが、アッバース朝のカリフから大アミールの称号を得てイスラーム法の施行権限を独占した。
- ④ ブワイフ朝はアッバース朝カリフを無視し、自らカリフを名乗った。(成蹊・文 改)

問 4 アッバース朝とセルジューク朝に関する文から、誤りを含むものを選びなさい。

- ① アッバース朝は9世紀初めごろから、騎兵として有能なトルコ人奴隸を「mamluks」と呼んでカリフの親衛隊に徴用した。
- ② 11世紀になると中央アジアのトルコ系のセルジューク朝がバグダードに入城、アッバース朝カリフからスルタンの称号を受け、イスラーム世界の指導者となった。
- ③ セルジューク朝は小アジアや東地中海沿岸に進出してビザンツ帝国と対峙し、以来200年に及ぶ十字軍との宗教戦争の原因となった。
- ④ シーア派を奉じたセルジューク朝は、各地に学院(マドラサ)を設けたので、イスラーム文化が大きな進歩を見せた。
(上智・文他)

問 5 ファーティマ朝に関して説明した文で、正しいものはどれか。

- ① シーア派の一派のイスマール派がチュニジアに建国し、エジプトを征服した。
- ② 軍人や官僚に俸給を支給するアター制に代えて、国有地からの徴税権を与えるイクター制を創設した。
- ③ エジプト・シリアを支配し、ナイル川下流域に首都フスタートを建設、インド洋と地中海を結ぶ中継貿易で栄えた。
- ④ ファーティマ朝を倒したクルド人武将サラディンはアイユーブ朝を樹立し、第1回十字軍と戦った。
(早稲田・法 改)

- ① イル=ハン国は、フラグがイラン地方を支配して建てた国家である。元朝に反抗し、キプチャク・チャガタイ両ハン国とも対立した。
- ② バトゥが南ロシアに建てたキプチャク=ハン国は早期にイスラーム化が進み、14世紀に全盛期を迎えたが、モスクワ大公国の独立後に崩壊した。
- ③ 中央アジアに成立したチャガタイ=ハン国は、13世紀前半にイスラーム化し、14世紀中ごろに東西に分裂、東チャガタイ=ハン国にティムールが出現した。
- ④ クリム=ハン国は、カスピ海北岸に建国された国家である。15世紀末にオスマン帝国の支配下に入り繁栄したが、のちロシア帝国に併合された。 (東洋・文他 改)

② バトゥが南ロシアに建てたキプチャク=ハン国は早期にイスラーム化が進み、14世紀に全盛期を迎えたが、モスクワ大公国の独立後に崩壊した。

③ 中央アジアに成立したチャガタイ=ハン国は、13 世紀前半にイスラーム化し、14 世紀中ごろに東西に分裂、東チャガタイ=ハン国にティムールが出現した。

④ クリム=ハン国は、カスピ海北岸に建国された国家である。15世紀末にオスマン帝国の支配下に入り繁栄したが、のちロシア帝国に併合された。(東洋・文他 改)

【正誤問題解答】

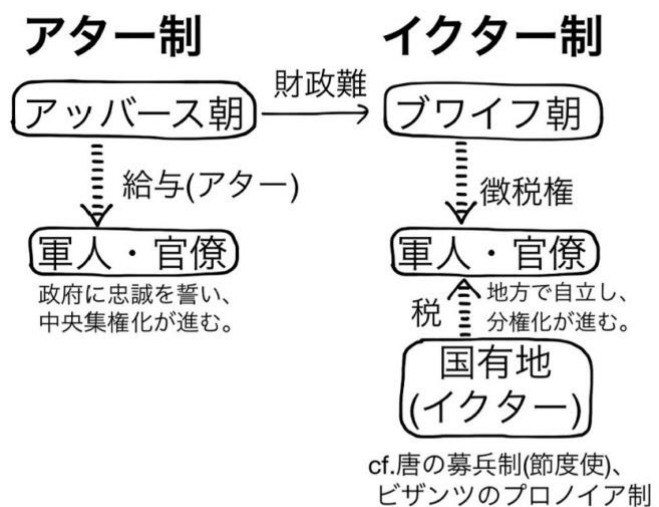
問 1 ④ 問 2 ② 問 3 ① 問 4 ④

問 5 ① 問 6 ②

【論述問題】

セルジューク朝の統治の特徴について、以下の語句を用いて90字以内で説明しなさい。

アッバース朝 カリフ イクター制



アッバース朝

財政難

ブワイフ朝

給与(アター)

三、徵稅權

軍人・官僚

政府に忠誠を誓い、
中央集権化が進む。

軍人・官僚

税  地方で自立し、
分権化が進む。

国有地
(イクター)

cf.唐の募兵制(節度使)、
ビザンツのプロノイア制

	5	10	15	20
5				

【論述問題解答例】

後期第 10 回 前者ではアラブ人が免税特権を持ち、非アラブ人は回収しても課税された。後者では、改宗者 マワーリー の人頭税 ジズヤ を免除、アラブ人にも地稅 ハラージュ を課し、ムスリム間の平等を実現した。(89 字)

後期第12回 イスラーム③

問1 サファヴィー朝に関する次の文から、正しいものを一つ選びなさい。

- ① この王朝の貿易港ホルムズを、明の鄭和の艦隊が訪れて通商が開かれた。
- ② 首都サマルカンドでは、「王の広場」とよばれる広場(メイダーン)をはじめ大規模な建築事業がおこなわれ、生糸・絹織物などの工芸品がヨーロッパにまで輸出された。
- ③ シーア派を国教とし、古代以来イランの王を意味する「シャー」の称号をもちいた。
- ④ トルコ系のウズベク人はこの王朝を滅ぼし、3ハン国をたてた。(成蹊・経済 改)

問2 デリー=スルタン朝についての記述のうち適切でないものを2つ選べ。

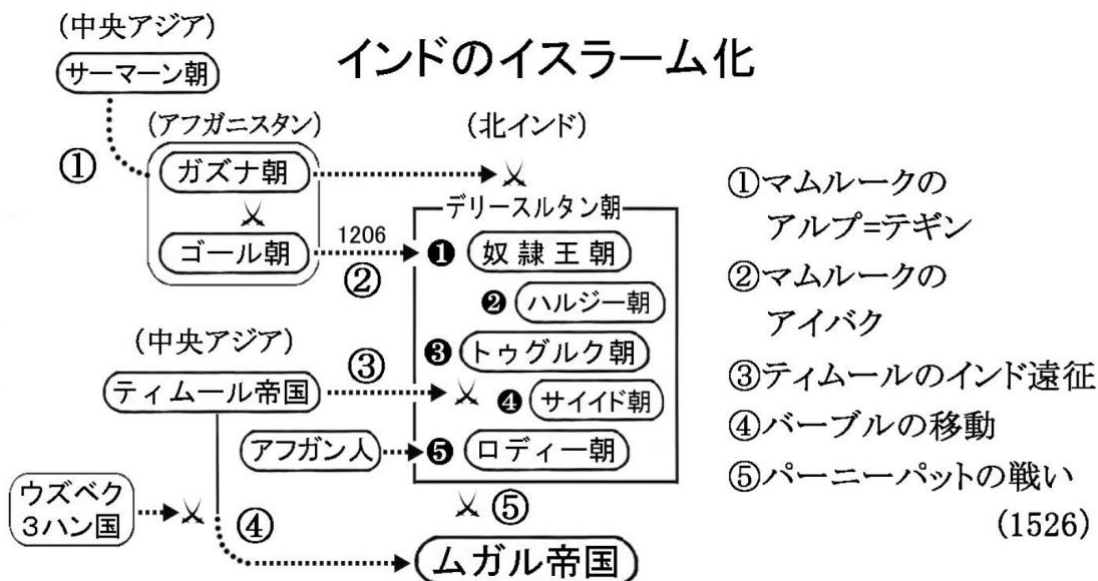
- ① インドにおける最初のイスラーム政権はアクバルによって創始された。
- ② ハルジー朝は、地租の金納化などの経済改革を実施した。
- ③ トゥグルク朝はティムールの北インド侵攻により打撃を受けた。
- ④ 最後のサイイド朝は、ムガル帝国に滅ぼされた。(早稲田・社会科学)

問3 デリー=スルタン朝の時代に関する記述として、正しいものはどれか。

- ① ラージプート絵画と呼ばれる細密画の製作が最盛期を迎えた。
- ② イブン=バットゥータが滞在し、インドに関する記述を残した。
- ③ 東部のベンガル地方では、ナーランダー僧院を中心に仏教が栄えた。
- ④ ジズヤを廃止し、ヒンドゥー教徒との融和を図った。(早稲田・政治経済 改)

問4 デリー=スルタン朝に関する記述として最も適切なものを、一つ選びなさい。

- ① ハルジー朝はモンゴルの侵攻を撃退、地租の金納化はムガル帝国に継承された。
- ② トゥグルク朝は最大領土を築いたが、モンゴル軍の侵入を受けて滅亡した。
- ③ サイイド朝は、ティムールの武将により建国され、イブン=バットゥータが滞在した。
- ④ ロディー朝は、トルコ系のバハロールがデリーで建国した。(明治・情報 改)



問5 ムガル帝国に関する記述として、適切なものはどれか。

- ① 初代 バーブルの回 想 録『バーブル=ナーマ』は、トルコ語 で書かれている。
- ② アクバルは敬 虔 なイスラーム教徒で、ヒンドゥーなど他 宗 教を弾 圧した。
- ③ ジャハーンギールは、妃 のためにタージ=マハルを築いた。
- ④ アウラングゼーブは宗 教 寛 容 策で、ラージプート諸 国との融 和を進めた。

(早稻田・政経 改)

問6 オスマン帝国のメフメト2世の征服活動として正しい説明はどれか。

- ① ニコポリスの戦いで、ハンガリー王が率いる十字軍を破った。
- ② アンカラの戦いで、ティムールの遠征軍に敗北した。
- ③ 黒海北岸のクリム=ハン国を服属させた。
- ④ セルビアの首都ベオグラードを占領し、ウィーンを包囲した。（早稲田・教育 改）

問 7 スレイマン 1 世に関する記述のうち正しいものを一つ選びなさい。

- ① サファヴィー朝との戦争を終わらせ、イラクを割譲した。
- ② 第1次ウィーン包囲を行った時、神聖ローマ皇帝マクシミリアン1世であった。
- ③ プレヴェザの海戦で勝利し、クレタ島・マルタ島を除く地中海の制海権を握った。
- ④ スレイマン1世の命により建造されたスレイマン=モスクは、内・外ともサン=ピエトロ大聖堂と非常に類似した構造をもっている。(中央・経済)

改)

【正誤問題解答】

問 1 ③ 問 2 ①・④ 問 3 ② 問 4 ① 問 5 ① 問 6 ③ 問 7 ③

【論述問題】

インドのイスラーム化について、以下の語句を用いて 120 字以内で説明しなさい。

アルプ=テギン アイバク バーブル

	5	10	15	20
5				

【論述問題解答例】

後期第 11 回 トゥグルル=ベクはバグダードに入城し、アッバース朝カリフからスルタンの
称号を授与され、政治・軍事の実権を握った。イクター制で軍人に徴税権を与えた
結果、地方政権に分裂した。(90 字)

後期第 13 回 イスラーム④

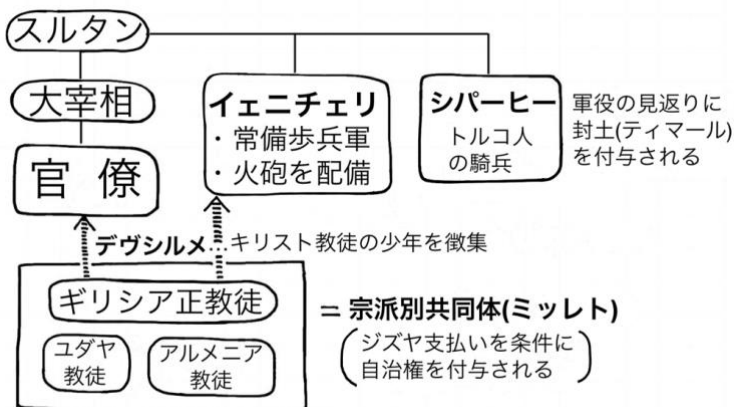
問 1 オスマン帝国に関する以下の文から、誤りを含むものをすべて選りなさい。

- ① 1299 年、小アジア西北部でルーム=セルジューク朝に服属していたトルコ人がオスマン帝国を創建、ビザンツ帝国の領土を侵略し始めた。
- ② バルカン半島に進出して、14 世紀半ばにアドリアノーブルを首都とし、14 世紀末にはニコポリスの戦いで西欧連合軍を撃破した。
- ③ ビザンツ帝国の首都コンスタンティノーブルを包囲するように領土を拡大し、1453 年ついにメフメト2世が同市を攻略、ビザンツ帝国を滅ぼした。
- ④ スレイマン1世はレバントの海戦で敗れたが、地中海の制海権は依然としてオスマン帝国が握っていた。(上智・文他 改)

問 2 オスマン帝国に関する次の文のうち、正しいものを一つ選べ。

- ① バルカン半島ではキリスト教徒の少年を徴集し、ミットとよばれる常備歩兵軍団に組み入れた。
- ② オスマン海軍はギリシア西岸のプレヴェザで、スペイン・ジェノヴァ・教皇の連合艦隊を破った。
- ③ スレイマン 1 世の版図は、北アフリカのアルジェリアに及んだ。
- ④ スレイマン 1 世は、世俗君主の称号スルタンに加えて、イスラーム教スンナ派の教主の称号カリフをもちいた。(成蹊・経済)

オスマン帝国



問 3 『コーラン』とスンナの研究に関する記述として、適切なものを一つ選べ。

- ① 教典解釈に通じた学者はウラマーと呼ばれ、聖職者としての特権を持った。
- ② 難解な教典解釈や形式主義を廃し、神との一体感を求めるスーフィズムが発展し、ワッハーブ派など多くのスーフィー教団が結成された。
- ③ スンナとはムハンマドの言行を意味し、これを伝える伝承(ハディース)の研究は、歴史学の発達をうながした。
- ④ コーランは神のことばを集めたもので、その内容は信仰生活に限定され、日常生活の活動にはおよばなかった。(成蹊・文 改)

問 4 イスラーム文明に関する記述について、正しいものを一つ選べ。

- ① 11～13 世紀のイベリア半島では、ギリシア語文献のアラビア語訳がフランス語に翻訳され、西ヨーロッパへと伝播した。
- ② ギリシア哲学とは異なり、スンナ派の神学は非合理的な性格が強く持っている。
- ③ モスクの壁面には、ムハンマドの肖像画や抽象的文様アラベスクが描かれた。
- ④ グラナダのアルハンブラ宮殿は、ナスル朝建築を代表する。(成蹊・経済 改)

問5 イスラームの知識人の活躍に関する記述として誤りを含むものを選びなさい。

- ① ガザーリーは、神秘主義を神学的に位置づけた。
- ② ニザーム=アルムルクは、モンゴルを中心にした世界史を『集史』にまとめた。
- ③ イブン=ルシュドは、アリストテレス哲学の注釈をおこなった。
- ④ イブン=バットゥータは、『三大陸周遊記(旅行記)』を著した。(南山・人文他)

問6 イスラームの学問に関連し、最も適切なものを以下から一つ選べ。

- ① 歴史家イブン=ルシュドは『世界史序説』を著し、歴史学の発達を促した。
- ② 詩人のウマル=ハイヤームは数学や天文学にすぐれ、正確な太陽暦を作成した。
- ③ イスラーム神学者はプラトンの論理学を熱心に研究したため、神秘主義思想の影響が拡大した後も、信仰と理性のバランスが比較的保たれていた。
- ④ メッカ巡礼記など旅行文学が盛んで、イブン=シーナーは『旅行記』を著した。(明治・農他)

【正誤問題解答】

問1 ④ 問2 ③ 問3 ③ 問4 ④ 問5 ② 問6 ②

【論述問題】

オスマン帝国の異教徒統治について、以下の語句を用いて90字以内で説明しなさい。

ミッレト イェニチェリ

				5					10					15					20
5																			

【論述問題解答例】

後期第12回 サーマーン朝の мамルーク、アルプ=テギンはアフガニスタンにガズナ朝を建て、ゴール朝の мамルーク、アイバクが北インドに奴隷王朝を建てた。5つのデリースルタン朝が続き、最後のロディー朝を滅ぼしたティムールの子孫 バーブルがムガル帝国を建てた。(118字)

後期第13回 キリスト教徒の子弟をデヴシルメ制で徴用し、官僚や常備歩兵軍 イエニチェリに採用した。異教徒を宗派別共同体 ミッレトに組織し、信仰の自由や慣習法による自治を認め、徴税を請け負わせた。(88字)